

Welcome to Rotary

Welcome to Rotary



Rotary

Welcome to Rotary

Welcome to

Rotary

ロータリーへようこそ

Welcome to Rotary

Welcome to Rotary

Welcome to Rotary

Welcome to Rotary

Wel

ne to Rotary

Welcome to Rotary

Welcome to



ロータリーって
知らない。

ロータリーって
聞いたことがあるが
何をすると
知らない。

ロータリーを
知っているが
うまく説明できない。

ロータリーに
誘われているが・・・

このような方々に
Q&A形式により
わかりやすく
ロータリーの概要を
説明しています。

Q: ロータリークラブとは、
一体どんなところですか？

A: 自分を磨き、人を育てるところです。

そして時には、慈善行為や
ボランティア活動、資金的
援助等を行います。



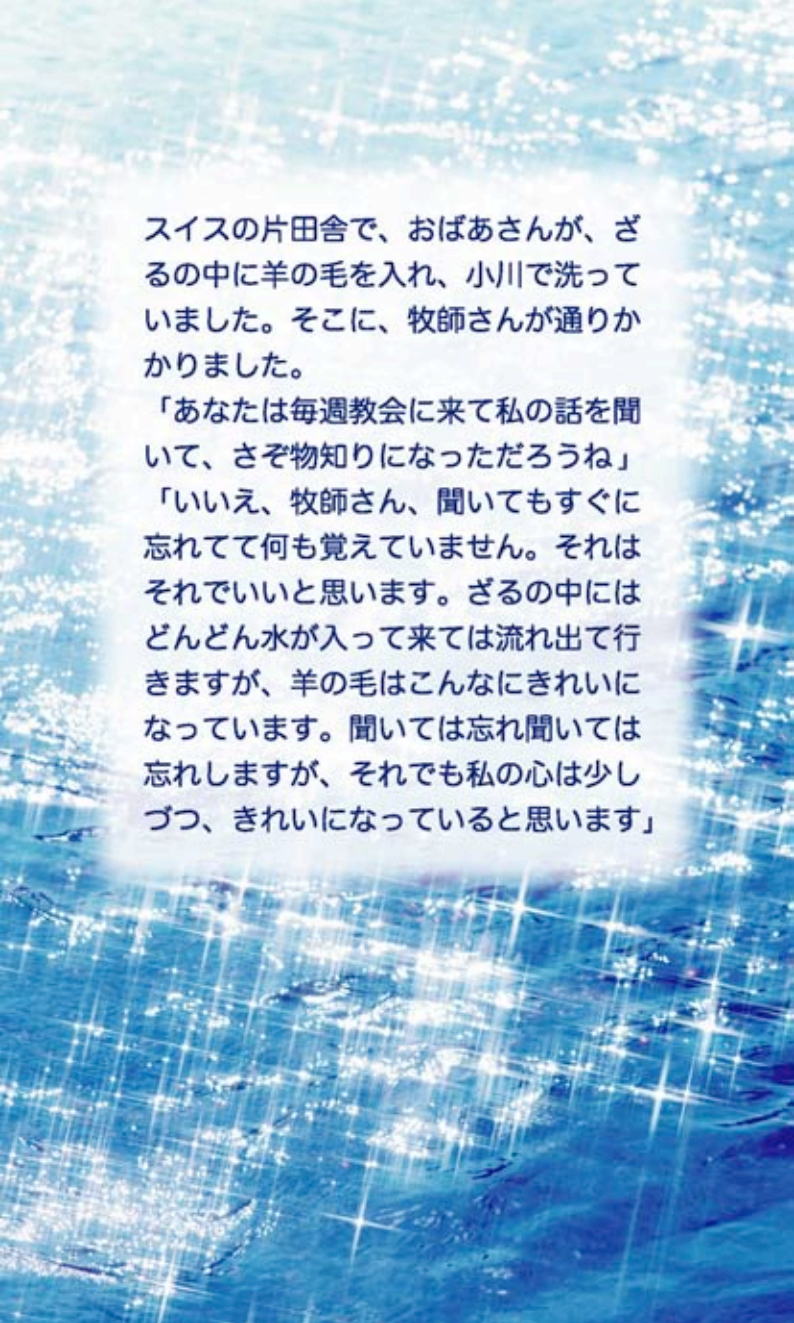
例えば、街角にゴミが落ちていたとします。ロータリアンとしては、街を美しくするために、必ず、そのゴミを拾います。しかし、ロータリーはそんな事を目指していません。ロータリーはそもそも「ゴミを捨てない人を育てる事」を目指しているのです。人を育て、道徳を守る人に育て、その事によって世のため、人のために働いて行こうというのがロータリーです。



Q: どこで人を育てるのですか？

A: それは、ロータリークラブ
です。種々な職業の会員が
毎週1回例会に出席し、交
流を深めて心を通わせるの
です。





スイスの片田舎で、おばあさんが、ざるの中に羊の毛を入れ、小川で洗っていました。そこに、牧師さんが通りかかりました。

「あなたは毎週教会に来て私の話を聞いて、さぞ物知りになっただろうね」

「いいえ、牧師さん、聞いてもすぐに忘れてて何も覚えていません。それはそれでいいと思います。ざるの中にはどんどん水が入って来ては流れ出て行きますが、羊の毛はこんなにきれいになっています。聞いては忘れ聞いては忘れしますが、それでも私の心は少しずつ、きれいになっていると思います」

Q: ロータリークラブには、
どんな人が集まっているの
ですか？

A: あらゆる分野の、種々な職
業の人達が集まっています。
会社経営者、役員、支店長
等の実業家や弁護士、医師、
宗教家等の専門的職業に従
事している人達です。



アメリカでは
T・エディソン
カーネル・サンダース
マッカーサー

多くの大統領
トルーマン
アイゼンハワー
ケネディ
ニクソン
レーガン 等

イギリスでは
フィリップ殿下
W・チャーチル
M・サッチャー 等

日本では
米山 梅吉
松下 幸之助
藤山 一郎
平澤 興 等

Q: ロータリークラブはどんな活動をしているのですか？

A: 先ず、ロータリークラブの例会などで、会員の「他人を思いやる心」「職業倫理」の向上に努めています。



更に、地域社会で問題や課題となっている事柄に対して手助けしたり、時には資金的援助もします。

また国際的にも援助の手を差しのべています。例えば、ポリオの撲滅や環境保全、人道的活動を行っています。

特に青少年に対しては人を育てる努力を続けています。例えば緒方貞子さん（元国連難民高等弁務官）は1951年に日本女性最初のロータリー財団奨学生としてアメリカへ留学されています。



Q: ロータリークラブのあゆみ
はどんなものでしょうか？

A: 1905年、利己主義や悪徳
商法のはびこる殺伐とした
シカゴの街で、心を許しあ
える友人を求めてポール・
ハリスら4人のメンバーが
集い、ここにロータリーが
誕生しました。

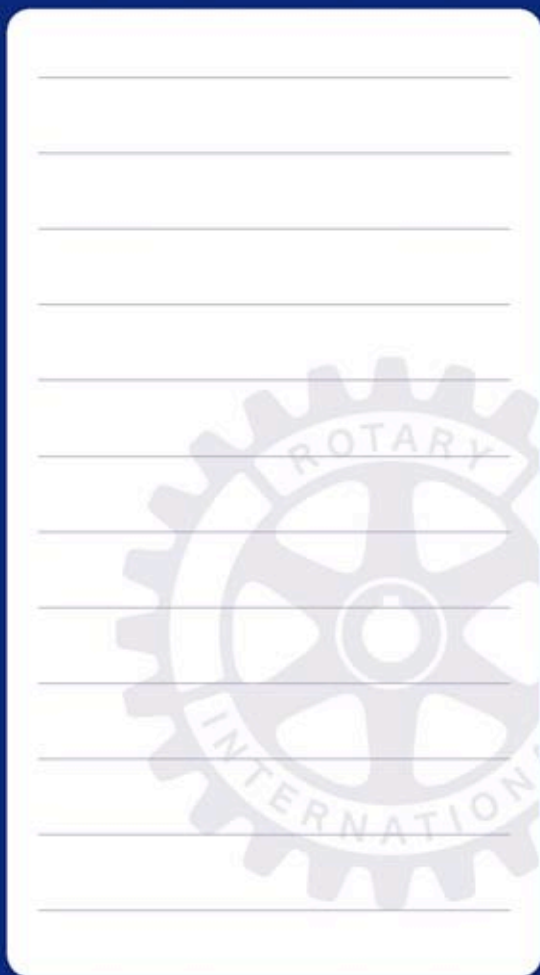


ロータリアン達は、お互いの信頼の上に助け合い、協力しあって、それぞれの企業を立派に発展させました。しかし、ロータリーの仲間だけが栄えても良いのだろうか、という疑問が生じ、「世のため、人のために」も考える事に目が向けられるようになりました。やがてロータリーは、職業を通じて社会に貢献する、という考えを取り入れてきました。つまり、これが職業人の経営哲学であります。そして、この考え方がロータリアンの企業を、どんな不況期にも隆々と栄えさせる原動力となったのです。

Q: ロータリーは、
現在どのような状況ですか。

A: 現在、世界では、200以上の
国と地域に広がり、
クラブ数32,943、
会員総数1,224,168人で、
日本全体でのクラブ数は2,319、
会員総数は 97,008人となっ
ています。 (2007年6月末現在)





国際ロータリー第2680地区
2007-2008年度情報委員会

